

【「実質 QE4」を仕掛けそうなトランプ大統領とパウエル議長、
について改めて考える！】

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

こんにちは。

さて、昨日流しましたこちらの号ですが

利下げについてのその後ろのストーリーを

もう数年前から後付じゃなくて事前に書いていたのもありまして

異様に反響がありました。

PDFレポート

【利下げで1グラム5500円（税込）に迫る金価格】

について考える！

[http://fxgod.net/pdf/gold\\_5500.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_5500.pdf)

やっぱり長期視点って大事だな～～と思います。

ちなみに私のメルマガ読者で色々塾とか教材で学んで

稼げるようになって豊かになった人たちは結構な数いらっしゃるけど

彼らはやはり長期視点を重視してるわけですね。

短期視点をチャートで言うと1時間足とか4時間足の

ダウ理論の見方ですけど

長期視点をチャートで言うと日足とか週足とか月足の

ダウ理論の見方になりますが

やはり大きな波に小さな並は支配されますね。

(FXN が言ってたとおり)

それでまだ世間では言われていない言葉ですが

やはり重要なのが昨日ちょっと書きました

「QE 4」っていう言葉だと思います。

実際はこの「QE4」っていう言葉は「控えめに」使われてく

と思ひまして、日本語で「QE4」でグーグル検索しても

まったく2019年8月3日時点では

引っかからないわけですが

やっぱり QE4 っていうのは金融市場理解してる人たちから

したらヤバイ言葉でもあるので、

情報統制されちゃってるな、という感じで見えますよね。

それで、世間ではこう、今 世間的には急に？

パウエルとかトランプが利下げ方向に来たように見えているから

驚いてるわけですが

私のメルマガでは結構これからトランプが利下げ（QE4）

やりだすシナリオってのは

2018年から事前に書いていたわけです。

それで当時はやはり理解する人が少ない状態でしたが

いまだと理解できるはずなので

以前に2018年の2月20日のメルマガで

そこでもうトランプは利下げしたがってるって私は  
書いているのだけど

そのときの号、

【「隠れQE4」をトランプ大統領配下の  
パウエルFRB新議長が開始したのではないか？ という仮説について考え  
る！】

を見たら今の利下げまでのちゃんとした政治の流れは

把握できるはずなので

あなたが長期視点持つために有用なはずだから、

改めて復習です！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【利下げで1グラム5500円（税込）に迫る金価格】

について考える！

[http://fxgod.net/pdf/gold\\_5500.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_5500.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【若いマレーシア人の多くは

「将来自分も金持ちになれる」と強く信じている】

[http://fxgod.net/pdf/malaysian\\_rich.pdf](http://fxgod.net/pdf/malaysian_rich.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF

【（FXで）「損きりにやたら引っかかるんです・・・」  
という悩みについて考える！】

[http://fxgod.net/pdf/sonkiri\\_hikkakaru.pdf](http://fxgod.net/pdf/sonkiri_hikkakaru.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)

PDFレポート

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る！】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)

PDFレポート【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは？】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か？】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【副島隆彦先生の最近の日本政治言論を見る！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/soejima\\_201907.pdf](http://fxgod.net/pdf/soejima_201907.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



PDFレポート

【マスコミが報じない「吉本興業に天下りをした警察OB 30人」  
について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/yoshimoto\\_keisatuob.pdf](http://fxgod.net/pdf/yoshimoto_keisatuob.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(写真37枚あり) 【マレーシア最大級のメガモール  
ミッドバレーに行ってきた】

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_megamall.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_megamall.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【なぜ最近マスコミは「軍用地投資」をあおるのか？】

[http://fxgod.net/pdf/gunyouchi\\_toushi.pdf](http://fxgod.net/pdf/gunyouchi_toushi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「行動力を上げる裏技」とは？】

<http://fxgod.net/pdf/koudouryoku.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「20代の4割は童貞」という

驚愕の統計データについて考える！】

[http://fxgod.net/pdf/20dai4wari\\_doutei.pdf](http://fxgod.net/pdf/20dai4wari_doutei.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【EUのドイツとフランスは  
米ドル決済を使わないINSTEX（インステックス）活用を  
進めていく】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/instex\\_eu.pdf](http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【なぜマスコミは芸能人の  
入江さん、宮迫さん闇営業問題を  
「プロパガンダ」しているのか？（警察天下り利権）】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/irie\\_miyasako.pdf](http://fxgod.net/pdf/irie_miyasako.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## PDFレポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## PDFレポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない！？」

[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての最新言論を  
見る！】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・Nさんとの「対談音声」が実現しました！】

※人気なため募集は一瞬で終了しましたが、

対談音声は勉強になるかと。

■ 1 本目の対談音声

「FX・Nが負け組から一気にスーパートレーダーに這い上がった  
実経験を暴露します！」

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/fxn1/>

■ 2 本目の対談音声

「お金はどうせ増える」（サイクル理論の話）

⇒ <http://www.fxgod.net/onsei/fxn2.mp3>

(スマホでもお聞きいただけます♪)

【FX N×ゆう 対談音声3本目！】

「サイクル理論ではシナリオで考える！？」

勝てる人と負ける人の違いとは？」

⇒ <http://www.fxgod.net/onsei/fxn3.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、昨日ですが金価格のことについて書いてますね～

PDF にしています。

PDF レポート

【利下げで 1 グラム 5500 円（税込）に迫る金価格】

について考える！

[http://fxgod.net/pdf/gold\\_5500.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_5500.pdf)

それで昨日は「QE4」っていう単語を出しましたが、

まだ世間では言われていない内容で

とりあえず「利下げ」という言葉で

日本では騒がれてると思います。



「利下げになったらこれからどうなるんだ！??」

って今日なんかもマスコミ記事が慌しい。

けど、私のメルマガ読者のあなたは学ばれてるので

ご存知ですが、

もう2018年時点では「隠れQE4」の流れってのは

見えていたわけですね。

それで トランプが利下げに動くシナリオについても

当時から書いてますね。

それで以前の号を見直していて、

自分で言うのもなんですが、長いけど

すごい分かりやすく書いてる号があって、

それが2018年の2月20日の

【「隠れQE4」をトランプ大統領配下の  
パウエルFRB新議長が開始したのではないか？ という仮説について考え  
る！】

っていう号ですよ。

まだこの頃は、韓国と北朝鮮の首脳会談もされていない

頃でしたが、

実はその辺の政治と金融が関わってるので

その辺の分析を書いた号です。

んで、その際に「トランプとパウエルはQE4を隠れてやりだしてるのでは  
ないか」

っていう号です。

今見ると、北朝鮮と韓国の首脳会談も行われて

アメリカと北朝鮮も3回目の会談もしたし、

トランプの「本当の思想」が、よく分かると思います。

ということで1年半前の

2018年の2月20日の

【「隠れQE4」をトランプ大統領配下の  
パウエルFRB新議長が開始したのではないか？ という仮説について考え  
る！】

を改めて見てみます。

2018年2月のメルマガから文章引用です。



=====

それで・・・実は金融の基本情勢でも実はこの1週間で

ちょっと変化が見えてます。

ちなみに私がメルマガで自分の文章で書いてることと

時々掲載している副島先生の分析ってのがありますが

これは実は長く見てる人はご存知のように時々細かい視点では

違ってきます。

これは日本の金融とか政治経済言論でトップ走ってるのが

副島隆彦とあとは田中宇であると思いますが

この2人は一緒にセミナーやるくらいなんですけど

ただ細かな分析とかは実は違いはあるんですね。

この辺の違いが分かるレベルまでになるとよく政治経済を理解している

といえそうですが

例えば副島先生は北朝鮮への爆撃があるというシナリオを  
よく書かれているけど

田中宇先生はこれは韓国と北朝鮮の融和が進んでいるという

シナリオ（プーチンのダブル凍結案が実現していく）

というのを書かれていてこの辺とかも最近違います。

私なんかは両論、載せるのですが

この辺は分析者によって個性とかによってもそれぞれ違ってる  
ってということですね。

だから私がよく掲載している色々な分析者の文章と、

私ゆうが書いてる文章の内容が少し細かいところで違うのだけど

それはやはり私ゆう個人の視点も微妙に他の人と違うということです。

ただ

まあ色々な分析を見るのは大事かなっていう風に考えてますので

都度 自分の意見とは違っても、掲載してます。

それで私なんかは今注目している視点なんだけど

それがやはり

「アメリカはどうも隠れたステルス化した

~~~~~

QE 4 をやりだしているのではないか」

~~~~~

ということです。

実は、これがどうも今2月後半では重要な視点になると

思ってますが

私は立場としてはこれは良いという立場ですね。

今金融市場が崩れると

やはり副島先生の言ったとおり

極東で小さな戦争が起こってしまう可能性があがるけど

(戦争経済といいまして、戦争すると儲かります)

ここでトランプたちが談合で隠れた QE 4 なんかをやることで

市場を吊り上げて安定化させておけば

とりあえずは極東情勢の韓国と北朝鮮の

交渉がうまく行きやすくなり、

これからのオリンピック後の 米韓合同軍事演習の中止もしくは延期

なんかも実現可能性が高まると私は見てます。

だからこのトランプがおそらく背後でやりだしているかもしれない



~~~~~  
~~~~~  
**QE 4の動きは少し注意してみる必要があります。**  
~~~~~

それでこの金融の話というのは、世間で知られていなくて
日本のマスコミも池上彰さんなんかでも難しく説明できないことだから

なるべく分かりやすく書かないといけないけども、

とりあえず今までの流れをまとめると、

FRB っていうのは2008年のリーマンショック後にですね、

金融システムを支えるためにQE QE2 QE3 っていう

「ジャブジャブマネー」を続けてきたわけです。

ジャブジャブマネーでお金を沢山刷る事で

ここで金融システムを買い支えてきたわけですね。

それで、質問ですが、基本的なこととして

「リーマンショックで問題になった金融市場は

株式、債券、為替、オプションなどあるけど

さあどれでしょう？」

っていうことなんだけど

実はこれが日本人の多くが答えられないことです。

さあなんでしょう？

そうです、「債券市場がぶっこわれたのが

~~~~~

リーマンショック」です。

~~~~~

実はこれが一番理解されていないことで、リーマンショックでは

株が暴落した = 株式市場が壊れたのだ、と勘違いしてる人が多いわけですが

これは厳密に言うと間違い。

壊れたのは金融市場の王様である債券市場です。

~~~~~

それがぶっ壊れて、株式市場なんかに波及したのだ、

という視点を持たないとリーマンショックとかサブプライム問題の

意味が分からないと思います。

ちなみに海外の分析ではこの債券市場 Bond のマーケットが

重要なので、すごいこの辺分析されてるのだけど

日本だと出てくるのはせいぜい「株と為替」だけですね。

たぶん多くの人にとって「国債とか社債とか意味不明」だと思います。

が、実際 事件は債券市場で起こってる

わけです。

まずここを理解しましょう。

それで、リーマンショックで壊れたのが債券市場で、

そこでジャンク債市場とかが壊れて、また米国債市場なんかも

不安定になったのですが

ここでそれを買って支えるために出てきたのが QE = 金融緩和

ジャブジャブマネーです。

ちなみにそのジャブジャブマネーはアメリカ FRB から開始されたけど

当然ジャブジャブマネーなんかは不健全ですから

(ジンバブエの例を見れば分かりますね)

ここでアメリカなんかは次は日本のアベノミクス、

次は欧州のドラギノミクスとやって

そこでアメリカの債券市場を買って支えさせるということをして

したわけです。

だから日本のアベノミクスは、実際はアメリカの債券市場を

買って支えるためってのが正確な説明でしょう。

日本国民の生活を豊かにするためじゃないんですね。

ちなみに今の日本の野党がしょぼいのはこの辺を

国会で指摘できないからです。

それで結局リーマンショックとかで不安定になったのが

社債市場で不動産担保債券とか、ジャンク債とかが

あるんですけど

これを買って支えるためにジャブジャブマネー（QE とか金融緩和という）

をやったわけです。

ここでジャブジャブしますから FRB の勘定 = バランスシート

ってのはどんどん拡大、肥大していくわけですが

それは不健全ですので、

だからその後属国の日本と欧州にそれを肩代わりさせて

アベノミクス⇒ドラギノミクスとさせたのだけど

その間に FRB なんかは QE の額を縮小していったわけでした

それを一応表向きゼロにしたわけです。

そして 2017年10月からは QE ジャブジャブマネーで買い込んだ

大量の債券があるんだけど

その債券を今までは買って支えていたけど

それを売却・償還していくってことを開始したんですね。

これを資産圧縮とか言います。

ただこの債券売却でバランスシートは一応縮小できるのだけでも

ただここで債券を市場で売却すると当然売り圧力がかかりますよね。

ここで債券売却した分、市場からその債券が購入された分

現金が減っていく（吸収される）わけですが

これは買い支えるのとは逆で売りが入りますから

ここで債券価格は下落＝金利上昇という現象が起こり、

（債券価格が下落すると金利は上昇します）

またそれが波及して株式市場なんかは急落して金融市場が崩壊する

という事態になってしまうわけです。

だからこれを「じゃあ少しづつ今までジャブジャブマネーで買い込んだ

債券を放出・売却すればよくねーか？」



ということで少しづつ放出してきたのが

以前のFRB議長イエレンおばさんです。

計画としては2017年10月から12月期は毎月100億ドル

2018年の1月から3月は毎月200億ドルの

債券を手放す=市場で売却 する予定でした。

が・・・できなかった。

~~~~~

要するに少額の放出、債券の売却でも市場に影響が出そうだった

~~~~~

わけですね。

~~~~~

要するに、アメリカの経済がイケイケどんどんで相当

自営業者たちが儲かって、景気最強で、

物を出せば売れる、みたいな

今の東南アジアや中国経済みたいな状況でしたら

これはですね、市場に影響が出ません。

実需が債券売却されてもそれを吸収してくれる。

が今のアメリカってのは株価は上がるけど

~~~~~

実需の実体経済は結構死に体ですから、

~~~~~

まあそれは債券売却したら買う人いないし

~~~~~

ヤバいんですね。

~~~~~

だから結局2017年は10月から12月で

1ヶ月100億ドル×3ヶ月分=300億ドル減らさないと

いけなかったのに

できませんでした。

実際にはFRBは300億ドル減らす予定が

~~~~~

5分の1の65億ドルしか保有債券を減らせなかった。

~~~~~

この下線部を引いたところがとても大事なんですけど

結局アメリカの金融ってのはもう後戻りできないということです。

~~~~~

一度買い支えなんかをやってしまったけど

それをじゃあ買った分を売ろうとして正常化させようとするけど

それをやると市場がぶっ壊れるというのが

おそらく FRB 幹部たちの本当の認識で、だからビビッて

65億ドルしか売却できなかったんですね。

もっと言うとなんかこれが日本のマスコミが報道できないことです。

~~~~~

それで1月末にイエレン FRB 議長がこの債券売却、資産圧縮を

推進して利上げ利上げとアホみたいに連呼してましたが

そんなのは（やっぱり）できないとわかってきたわけで

そこでイエレン FRB 議長なんかはトランプ大統領が

ジャブジャブマネー推進派のパウエルを FRB 議長にするってことで

「パウエルになったら資産売却は進まないわ」ってことで

ここでイエレンが1月最終週で 今まで遠慮して売っていた債券を

大量売却したんです。

市場の様子を見ながら（2017年）10月から12月なんかは

3ヶ月で65億ドルでビビりながら売却していたのに

（1ヶ月平均20億ドルちょっと）

2018年1月はたった1ヶ月で301億ドルも減らした！

のです。

10倍以上のペースで債券をイエレンおばさんは売却したわけです。

狂ってる、とトランプは思っただろう。

それで債券が今までの10倍のペースで売却されるとどうなるか

というと市場に出回ってる資金が債券売却で吸収されてしまうけど

ここで一気に市場が資金不足になるわけですね。

そこで2月5日には暴落が起こってしまったわけで、

やっぱりここで資産売却はヤバいんだと分かってくるわけです。

2月最初にアメリカ発でジャンク債や米国債の金利上昇が起こり

これがNYダウの株価暴落にもつながりました。

ここで金融崩壊するか？やばくねーか？みたいになったわけですね。

ただここで重要なのは今金融崩壊されるとトランプはですね、

~~~~~

これから何もできなくなります。

~~~~~

イエレンばあさんはそれを狙ったと思います。

もっと言うとイエレンおばさんは軍産とも親しいわけですが

~~~~~

ここで今暴落させて、金融市場破壊すればですね、

~~~~~

今まさにトランプは極東情勢で実際はムンジェインと連携して

~~~~~

北朝鮮問題を解決していこうとしてるんだけど

~~~~~

(プーチンのダブル凍結案を重視しながら)

これができなくなりますよね。

~~~~~

市場が不安定化すれば、「じゃあ戦争して景気回復しちゃえばよくな？」

という軍産の声が大きくなっちゃう。

これをまあイエレン婆は狙ったのではないかと推測するけど

~~~~~

だから1月に今までの10倍以上の大量の資産売却を行った。

~~~~~

んで最後のイエレンばあさんのすかしっ屁であったけど

これが金融市場にダメージを与えたわけですね。

ただトランプもここで負けていないということで、

~~~~~

私ははっきりいってトランプ支持者なのですが

~~~~~



以前書いたようにトランプはまだ「カードを3つ」持っています。

それで株価は世界的に反騰しました。

だから私なんかはNYダウは売りで入ってたけど

それはダウ理論で戻り確認して利益確定しちゃいましたが

それを伸ばさないという判断はこの辺の情勢判断も

重要だったりするわけです。

それで最も注目がジャンク債市場の金利でしたが

株価の反騰と共に、ジャンク債金利も2月14日かけて

上昇し続けていたけど

そのあと下がる傾向になってきました。

ということは誰かが買ってます。

それでこれは田中宇先生が調査されていたけど

FRBの資産総額を調べると

2月5日に暴落が起こり、

その後2月7日にかけての1週間で資産買い入れが

1週間で24億ドル増加（1ヶ月単位で見ると100億ドルペース）

2月14日にかけての1週間では

これまた1週間で142億ドル増加しました。

（1ヶ月単位で見るとなんと500億ドル超えるペース）

ということはこれはアメリカのFRBの政治を理解する必要があるけど

イエレンばあさんは世界を不安定化させるために

特に今極東情勢で軍産が暗躍するために

資産売却を大量に1月進めたけど、

トランプの配下のパウエルが2月に議長になって

ここで一気にパウエルがイエレンばあさんが売った

~~~~~

債券の半分を一気に買い戻した

~~~~~

という政治が読み取れるわけですね。

~~~~~

これで一応資金が株や債券相場をV字回復させてるわけです。

~~~~~

だから今の現状みるとパウエルがトランプのために健闘しているから

まだ暴落するかは分からない

というのが私ゆうの認識ですね。

が、このまま持ち直していけば、

~~~~~

トランプも極東の国際政治をプーチンのダブル凍結案に沿って

~~~~~

うまく進められるし、そのために韓国大統領ムンジェインが

~~~~~

紛争にならないように北朝鮮の金となんとかパイプつなげようとしている。

~~~~~

(2019年のゆう追記：実際その後、

そうなって米朝会談、南北会談実現)

北朝鮮問題での最高の結論は以前書いたけど

米韓合同軍事演習の中止です。

これがされると一気に極東情勢は安定化してくるシナリオが見えてくる。

そのためにもトランプはパウエルにジャブジャブマネーを再び

させるという動きを仕掛けてる可能性があるってことですね。

それでここで重要なことがあって

イエレン FRB 議長が資産売却を行ってきて、利上げ云々とか

ずっと言っていてトランプと対立してきたけど

新しい FRB 議長パウエルは逆にジャブジャブマネー推進派であります、

やっぱり。

ここが見えてる必要があります。

そこでまだトランプ配下のFRB議長パウエルになって2週間弱だけど

一気に今までイエレンが売却してきた債券を

パウエルが市場から買い戻ししているわけですね。

~~~~~

債券買い支えをまたやってるような感じです。

~~~~~

パウエルはトランプに言われたとおりだと思うけど

ジャブジャブマネーを市場に供給しだしている。

ということはこれは何か？というと

「実質的QE 4」になる可能性があるってことです。

~~~~~

たださすがに正式名称で「QE 4」という言葉は今の

金融市場ではタブーみたいな言葉なんですよ。

QE4 やっちゃった=アメリカ大丈夫かいな

~~~~~

ってことですから。

ただパウエルは実質的な QE 4 を 2 月から開始したという

見方が仮説的にいえるわけです。

これを田中宇先生は「ステルス QE」と表現されてるけど

まあまさに 隠れた QE 4 ですよ。

それでもしこれから株価が下落して債券相場が再下落したら

ここで「株価引き上げろ」というトランプの圧力は当然

パウエルにかかっていくわけで、

パウエルが裏切らない限り

~~~~~

ここでパウエルは隠れた QE 4 をやっていく、

~~~~~

というシナリオは見えてきます。

~~~~~

だから以前に金融面において

「トランプはカードを3つ持っている」と書いたけど

この1つを行使しだした、という見方になります。

それで当然パウエルが議長になったのはトランプに

FRB を使ったの本当は不正操作なんだけども

これを使って株価下落を防ぐという約束をして、それで

議長にしてもらってるはずなんですね。

それでパウエルは今債券市場の 売却額や買い入れ額を見ていくと

かなりトランプ大統領に忠実に動いてるといえまして、

実際に ステルス QE 隠れた QE 4 を開始しているように

見えます。

だから以前のイエレン議長は利上げなんとかで

今までジャブジャブマネーで肥大化した債券を売却するという

戦略を取ろうとしましたが

パウエル新FRB議長は全く逆で

~~~~~

これから債券を買い支えていく = ジャブジャブマネーを再開していく

~~~~~

可能性が非常に高い、と言えます。

~~~~~

だからこの辺の見方がちょっと私と

掲載する言論人の文章との

見方の細かい違いではあるんだけど

私は今はそう見てますね。

~~~~~

それで、2018年前半はこのような形でパウエルが

株価上昇を人気の背景としているトランプをなんとか支えようとしていき

そこでFRBの総資産がさらに肥大していくシナリオは見ておくべきです。

だから2018年前半はパウエルが「隠れたQE4」をやっている

そこでしばらくして何らかの公式な理由をつけて

~~~~~

そこで「私たちアメリカはQE4を再開する」

~~~~~

ということになるかもしれない。

~~~~~

だからいよいよ今までタブーとされたQE4という言葉が

ひそひそとこれから言われだす可能性があります。

ちなみに私のメルマガがよく読んでる人は分かるように

QE 4 開始するとなると、もうアメリカ覇権は2020年台には

~~~~~

つぶれていくことは確定ということです。

~~~~~

しかしアメリカ覇権を衰退させるのがトランプの目的でありますから

それは彼が大統領選挙で「アメリカファースト＝世界の警察官じゃなく  
ていいです」

と言ってる通りなんだけど

このQE 4再開はもう自爆みたいなものですが、

それは長期視点ではトランプの戦略に沿ってるんですね。

だから必然的に中国ロシアの覇権になっていくんだよ～

~~~~~

ってことです。好き嫌いは別にして、分析するとそうなりますね。

~~~~~

んで安倍首相はですね、あの人ネットウヨを味方につけてますけど

実は中国韓国と仲良くしようと動いてるんだけど

安倍はたぶんアメリカが崩壊していくの知ってます。

~~~~~

彼が日本の右にも左にも批判された

「第2のリーマンショックが起こるかもしれない」発言は

世界でも批判されたけど

やはりそれは2020年台には起こってくるわけです。

だからトランプ当選後の安倍は明らかに中国ロシア韓国と近づきだしてる

のだけど、

ただ支持者のネットウヨさえも時々敵対的な発言して

安倍は裏では中国と韓国と距離を縮めてだましてるんだけど、

そして左派リベラルという人たちも表向きの発言でだまされてるけど

ここに気づいてる人はおそらく政治評論家でも相当少ないです。

そういう意味では私は日本の

安倍支持の右翼と

安倍嫌いの左翼

両方とも

分析間違っていると見てます。

要するに、日本のテレビ全局、

NHK 日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京

日本の主要新聞である

読売新聞、産経新聞、毎日新聞、朝日新聞、日経新聞

これら全部が左右関係なく分析間違ってる、と私は言ってます。

そして

安倍はこの動きを見据えて、

表向きは尖閣諸島なんかで中国と対立する「ふり」をしているけど

実際彼がやってる政策を見ていくと明らかに中国や韓国と

協調する方向性に2016年トランプ大統領に決定してから

変わってきてまして、変節してますね。

いずれ数年して日本は中国と韓国と仲良くしていますよ。

ぜひ流れをそうなるかこの数年、見ていてください。

これはかつて私が支持する小沢一郎が昔は軍産の犬だったけど

一気に軍産の衰退を見越して 変節したのと似ている。

この辺の安倍のトランプ大統領誕生後の

変節に関する分析は実は日本語ではほとんど出ていない

のが現状で

唯一田中宇先生が分析してるから彼の文章を

興味ある人は読んだ方が良いでしょう。

それでアメリカの金融市場で注目なのは

~~~~~  
パウエルがイエレン全否定の動きを取り出していることで

~~~~~  
実質のQE 4 と呼べるような債券を再度買い入れるという

~~~~~  
トランプを支える動きを忠実にやってきているのが明確になってきた

~~~~~


ということです。

それでいずれ公式に QE 4 を発表していく可能性、シナリオは

~~~~~

見ていかないといけないというのが2月の債券市場の動向を見てでの

結論です。

それでFRBがQEを再開するとすなわち実質のQE4となると

~~~~~

これはトランプは再選可能性は高まりますね。

~~~~~

ただもうこれはジャブジャブマネーをやるということは

「健全化は放棄したということですから」

だからトランプの2期目の2021年から2024年あたり

もしくは次期政権になるかもしれないけど

2020年台前半、だから東京オリンピックがなんとか終わった辺り

ですね、

その後数年あたりで時間的にQE 4が限界に達して、

第2のリーマンショックが起こるってことになります。

ここで安倍はもう退陣してるでしょうがそこで

「安倍の第2のリーマンショックの予言は右にも左にも

馬鹿にされたけどこれは正しかったのか」

という言論が登場していく。

そこで日本の右と左の両方の信頼が消滅していきます。

ただここで2020年台にQE 4が限界になって暴落、

阿鼻叫喚となると思われますが

そこでやっぱり上がってくるのは金地金です。

ロケットみたいにこの前後で上がっていくだろうと思う。

だからまだトランプ誕生で実質のQE4で崩壊まで

数年あるかもしれないから、

その間にまだ安値で買えるから

金地金は買い集めておくべきだと私は長期視点で

思ってるんです。

(ちなみに短期中期的な一時下落はあるでしょう。

ドル防衛しないといけないから。

だからそういうのに振り回されないためにも

金はETFじゃなくて実物で持つものです。

金持ちたちは香港シンガポードバイらへんの

貸金庫に保存してるでしょう)

それで今回2月にパウエルFRB議長になって早速

ステルスQE、隠れたQE 4が実施されたという見かた、仮説が

成り立ちますが、

ここでトランプはパウエルFRB議長に110億ドルの不動産担保債券を

買戻しさせてます。

買戻すのだから、そこで現金を債券市場に注入している

という見かたになりますね。

そこで金融界はその資金を元にレバレッジをかけて

10倍の1100億ドルを調達してます。日本円で

13兆円くらいでしょうか。

それが各相場を押し上げてます。

それでここでパウエルが勝っていくのか、

もしくは売って暴落させたい軍産勢が勝っていくのか

というのがこの数ヶ月の攻防の注目点として

この辺はNYダウの推移として

持ち直すのか

暴落してしまうのか

で攻防の結果が見えてきます。

持ち直すシナリオも私はパウエルの動きから見てるのだけど

もし持ち直した場合は QE 4 という言葉がいずれささやかれる形になって

逆にこのままトランプとパウエルが金融戦争で負けていった場合は

極東情勢のトランプの政治がうまくいかなくなって軍産に儲けさせる

戦争リスクが上がってしまうということです。

だから私は予想とか予知はトレードにおいては意味がないので

投資家なのでしないのですが

どっちのシナリオに転ぶかを非常に注目してます。

が今のパウエルの買い入れの勢いが継続していった場合は  
持ち直すシナリオ可能性も見ておく必要があるとなります。

それで今回の 隠れた QE4 を新 FRB 議長パウエルが行ったわけですが

~~~~~

ここで円とドルの資金量バランスが崩れたわけですね。

~~~~~

ドルが増えて

円はそのまま、

ってことですから、これは当然円高になるわけで

円高ドル安になるわけです。

パウエル新議長がこのままトランプの方針で行った場合

だから強いドルは放棄ですね、姿勢としては。

だから為替のドル円は売りの圧力がやはり高いということで

この辺は月足でのテクニカルチャート分析と一致すると見てます。

それで隠れ QE4 が2月は加速しまして、これは無視できない事態ですが

ここでビットコインが反騰してます。

ビットコインにはこの NY 金融街のジャブジャブマネーが入ってる

んですが、それは以前説明しましたが

ここで隠れ QE 4 の資金である 1 1 0 0 億ドルのうち幾分かが

ビットコインに入った確率が高く、

これは謎の買い手がビットコインに巨額な資金を入れてるわけですが

おそらく JP モルガンとかそっちの系列じゃないかな？



と私は見てますが

やはりジャブジャブマネーが継続されるとなるとビットコインは  
上昇圧力がなんだかんだ長期でかかっていくということですよ。

この辺のシナリオも考える必要があるわけです。

オリンピック選手だった成田君がインタビューアやってる案件の上坂さんが

2018年はやっぱり仮想通貨注目だ、といってるのは

この辺見てると思いますね。

それでFRBの動きは上記の動きが確認できるわけですが

じゃあ日本の日銀は？

となりますが、

日銀はこれはやはりジャブジャブマネーっていうのは不健全ですが

実際の数字を見ると

日銀はこっそりとジャブジャブマネーの減額をやりだしてます。

これはもし公式に今までのアベノミクス以来の金融緩和ジャブジャブマネー  
を

減額しますとでも言おうものならここで

一気に株価下落とドル安を招きますから、

発表せずにこっそりやってるのがポイントですね。

ただここで黒田日銀総裁が実際は減らしてるのに

「まだまだ QE 金融緩和は続けるぞ」と表向き言ってるのがポイントです。

表向きはそういうけど実質は減らしてます。

それで今の動きとしてはアメリカはジャブジャブマネーを実質

再開していきそう（隠れ QE 4 が開始されだしてる）

という状況。

一方日本の日銀は QE を表向き増やすといいながら減額方向、

です。

となると？この政治的状況が固定化されていくと

円高ドル安シナリオを考えていく必要があるってことですね。

ただ今まで資産圧縮していた利上げするぞといったイエレン議長と

パウエルは全く違うことをしてますので

ここでトランプ嫌いのマスコミが

「トランプはジャブジャブマネーをしているけしからん！」

という論調になるはずですよ。

ここでトランプとパウエル VS 軍産傀儡のマスコミ

の構図になっていくと思いますが

この辺の戦いになってきます。

ただパウエルが健闘していけばこれは

上記FRBがジャブジャブマネーで日銀はQE縮小という構図だから

となるとこれは円高ドル安圧力になると分析できます。

それで2013年以来、日銀の黒田と安倍首相がジャブジャブマネーを

していた理由は何か？

というところはメルマガで散々書いたことだけど

日本の金融界に米国債やジャンク債を買わせてアメリカの債券市場を

買い支えさせるためですよね。

そのために日本国債長期金利と米国債長期金利の金利差というのが

あってこれが2%くらいになるように調整されていたのだけど

ここで 日本⇒アメリカへの国富移転というのが起こって

そのマネーがアメリカの債券市場に行って買い支えが起こっていたんです。

その間アメリカはQE ジャブジャブマネーを自分でやる必要がないから

イエレンがその間にジャブジャブマネー縮小政策をしていたのだけでも。

今まで2013年からは日銀がジャブジャブマネー資金で  
日本国債を買い占めて

そこで日本国債買えなくなった日本の金融機関が米国債とか買っていたんで  
すけども

この流れは変わっていく可能性があるわけですね。

これからもしパウエルが今の勢いでジャブジャブマネー、

すなわち隠れQE4を続けて行った場合、

このように属国日本がアメリカの債券市場を買い支える必要性が

低下しますから、

となるところで日本政府は日本株のETF買い支えとかを

強くして国内の株価吊り上げに集中できます。

だからここで出てくる現象が

「円高なのに株高」みたいな現象です。

今までは「円安なら株高」「円高なら株安」だけでも

今の債券市場の状況を見ると

この相関は崩れてくるシナリオが見えてくるんだけど

実際そうなってきたな〜と。

ちなみに属国日本が最近米国債を買わなくなってきたんですね。

日本は属国だったんだけど

トランプ登場でついに 米国債をあまり買わない日本

という構図が出てきてるわけです。

ってことでこれから日経平均株価とドル円の相関が崩れるシナリオが

考えられます。

それでこれはまだ 隠れ QE4 の話ってのは

今確認できるだけで継続性を持つかどうかは

政治的なものなので、確信できるものではないものの、

これからの注目は FRB の資産総額の  
バランスシートが拡大してくかどうか？

ですね。

ここが拡大していけば実質の QE4 再開となります。

だからこれから数ヶ月で FRB の資産総額がどのようになっていくか？



というのが注目ですが

パウエル新議長の登場で隠れ QE 4 の「兆候」が出だした

というのが 2 月中旬の金融市場では

注目される点です。

この辺は日本のマスコミでも一切言われていないことで

アナリストなんかも知識に乏しいため

全然言っていないことなんです

ただ FRB の債券市場でのこの数週間での動きを見ると

上のような分析結果が出てきますから

知っておく必要はありますね！

では！

ゆう

追伸・・・それでトランプとしては

邪悪なジャブジャブマネー QE 4 をパウエルに圧力かけるのは

理由があって

ここで金融市場が不安定化すればそれは

軍産の「戦争で経済立て直すぞ」という戦争経済の

論理に拍車をかけるからだ。

だから、トランプはパウエルと共謀して、

~~~~~

一時的な金融安定化のための

~~~~~

ジャブジャブマネーのカードを切ってきていると言えます。

~~~~~

ここでトランプとパウエルが勝っていくと

~~~~~

プーチンの言うダブル凍結案に沿って韓国のムンジェインと

~~~~~

北朝鮮の金の交渉が進んでいき

~~~~~

米韓合同軍事演習が中止か延期となりまして

トランプが本当は望む軍産に北を攻撃させない比較的平和な

解決策が実現していくわけです。

この辺を分析されてるのが田中宇先生でして

実はこの辺が同じく引用する

戦争シナリオを描いてる副島先生とは少し違う分析になっている

と言えます。

それで私なんかは NY ダウ暴落の戻しを見て

また FRB の資産再度買い入れの動きを見て

パウエル新議長がこれからジャブジャブマネーで健闘していくシナリオを

~~~~~

見だしているということです。

~~~~~

なので色々な意見を見ていくと、見えてくるものがあるってことでして

多様な意見を見て行ってシナリオ構築していくってのが

多様な国マレーシアにいる私のスタンスです。

では！

=====

以上です！！

それで上の引用のメルマガは2018年2月に書いてる内容ですが

今の利下げ騒動？につながるストーリーがよく

分かると思います。

ちなみに私が謎なのが日本とかアメリカのマスコミもそうだけど

「断片的に」「点で」例えば利下げについて報道したりする

んだけど

ちゃんと金融ってのは政治と絡み合っただけストーリーが

あるんで、

やはりそのストーリーを見ていかないと何も分からないよな

ってことです。

ただマスコミがストーリー書けないのは理由があって

それはトランプの「アメリカ帝国覇権を衰退させる」っていう

意図書かないといけませんから、

まあここ 主流メディアは書けないよな、って話になるわけです。

ちなみに上の話は2018年2月に書いたけど

その後 ちゃんとトランプがパウエルとある種共謀して

勝って行き、

そして韓国と北朝鮮の国交は正常化しそうですし

(首脳会談が開かれた世界的ニュースになった)

あとはアメリカと北朝鮮は3回目の会談をこの前しましたね！

トランプが軍産官僚たちに勝った

んですよ。

官僚の広報機関である日本のメディアはその本当のことを

書きたがらないけど、

トランプとパウエルの勝利です。

それで今 利下げ、実質のQE 4の流れが形成されてきてる

わけですが

そこで また北朝鮮ミサイル問題が出てるけど

これもやはり QE 4 での吊り上げをトランプたちはして

そこで NY ダウなんかは高い値で政権は磐石な株価プロパガンダ

ができる状態にしておいて

平和的に解決していこうとしてますね。

それで 2018 年 2 月に書いたトランプの思想分析の

記事みたら、

実はトランプが強烈な頭の良さで政治を進めている

ってのがよく分かります。

マスコミの人たちは当時

「アメリカと北朝鮮が核戦争になる～」



と書いていましたが、

それはトランプの頭の良さが分かっていないわけですね。

トランプ大統領なんかは1代で不動産事業で

関連会社入れたら非公表含めたら6兆円は資産あるはずだけど

そんな人が馬と鹿さんなはずないんです。

トランプは強烈に頭が切れる。

がだからこそ、並の知識や洞察しか持っていない

一流大学出身の普通の記者たちから見たら

頭おかしく見えるってことです。

(一流大学の人頭良いてのは幻想、妄想、洗脳です。)

が、今の金融市場や世界情勢見るに、

このトランプの思想分析ってのはすごい大事ですよ。

ちなみにマハティールなんかは中国の**一帯一路**と協調したよ

って記事もこの前書いたけど

このマハティールはその辺理解しているんですね。

だからマレーシアなんかは仮に第2のリーマンショックあっても

ダメージ受けても回復は早いでしょうね。

それで

「それでFRBがQEを再開するとすなわち実質のQE4となると

~~~~~

これはトランプは再選可能性は高まりますね。

~~~~~

~

」

って2018年2月の記事で書いてますが

これもう利下げが最近は実質のQE4になってきているので

余程のことなければ トランプ再選されるかなと私は

今のところ見てますかね。

それでQE4なんかで市場で売られたときも

買い支えて、

それで大統領選なんかで当選して、

それでその最中にどんどん 各国に

アメリカ離れ、を進めさせて 対米従属させず

対米自立させるようにトランプが仕向けていきまして、

そこではトランプはやはり極東アジアの韓国⇒日本の

順番で 米軍撤退の準備を進めていきますね。

今までどの大統領もできなかった世界からの米軍撤退を

本当にトランプはやっていく。

選挙前の支持者たちへの米軍撤退の公約を実現する。

時には支持者も欺きながら、公約を実現していく。

これはトランプが 思想的に どんなに卑怯なことをしてでも

支持者たちの公約を守る、というマキャベリズムの思想を持つてる

ってことが分かる。

ということでこれからやはり極東アジアでの米軍撤退の議論が

徐々に進む可能性が極めて高い。

それで金ゴールドなんかは長期で注目ですが

短期では米ドル防衛勢力に売られる地合いも出てくるはずで

そのときに QE4 のジャブジャブマネーが使われるでしょうが

やはりそれは一時的なものなので、もし、これから

金価格が今は5500円税込みで越えちゃってるけど

もし4000円台まで下落するようなことが再びあれば  
(けどないかもしれない)

個人的には買い検討してよいと思ってみてます。

昨日ピーターシフも扱いましたが

やはり長期では金は上昇基調に入っていく可能性が

高いよね、っていう感じで私は見てますかね。

それで、やはり実質の QE4 シナリオに移ってきたことは

アメリカも帝国化を長期でやめていく、ってことが

明らかになったわけですから、

そうなるとやはりこれから アメリカは今購買力平価 GDP では

中国に抜かされているのだけど

購買力平価かましていない GDP でも 2020 年代には

中国に追い抜かれていくってことですね。

あとはそれに続いて、インド、インドネシアなどが

存在感を増して行きますから

これから大国になっていくこれらの国の株式市場が

世界では大事になってくる。

また北朝鮮と韓国が 昔の西ドイツと東ドイツのように

統合していくと、

そこは極東アジアに巨大なマーケットが誕生するので

多くの日本人は認めたくない、という感情はあっても

やはり私が数年前から書いてるように

日本の1人あたりGDPは韓国の一人当たりGDPに

抜かされるはずですよ。

すなわち世界では、特にアジアでは

各国でどんどん中間層が誕生していきまして、

彼らがアメリカ帝国の代わりに消費を牽引していく世界

になっていきますよね。

それで私は最近南アフリカの人にも聞きましたが

南アフリカでも IT 使った起業家がすごい勢いで増えている

となるとこれから

アジア中心での世界経済成長

⇒ 中東や アフリカや 南米でも中間層が

誕生

となりまして、今までは私含めた

有色人種が貧しかった時代だけ

これから白人圏ではないところで 経済が勃興する

体制になります。



その際に、これらの資本主義が導入されていく新興国で

最近書いてるバフェット投資は儲かる

確率高し、なので今前もって扱ってるわけですね～

(バフェットが投資を開始したときのアメリカも実は  
新興国扱いだったんですよ。)

ということで、かなり面白い時代になってきてる

ともいえますね。

帝国覇権が崩れる中で、政治でも経済でも社会でも

チャンスがたくさん生まれると私は見えていて

そこを活用する人がこれから伸びます。

では！

ゆう

追伸・・・ちなみに世界では大きくこういった

先進国のジャブジャブマネーが流れまくってるんだけど

2020年代中盤あたりに 「先進国バブル」が崩れたら、

そこでやはり世界の株式市場はどこも 30%40%と

下落することが想定できます。

そこで人口ピラミッドで若者が少ない国は回復に時間を要する。

が、人口ピラミッドで若者が多い国は回復が早まります。

(強い需要＝例えば子供の食欲、物欲は  
不況だろうと生き残るから。)

それで今世界の多くの株が過剰流動性マネー（ジャブジャブマネー）

であがりまくっていて、

バフェットのバリュー投資だと高値にすぎてる、

という状況ですが、

ここでトランプがアメリカ帝国を2020年代に崩す準備を

してくれてますので、

そうなると、世界的大暴落が起こりますが

そこでは多くの 消費者独占型企業を安値で買えるでしょう。

私も消費者独占企業だけが高すぎて投資収益率に問題があるため

買いたくても買えない株が

あるんだけど

買える時代に入ってくる。

だからこれから「暴落もチャンス」という考え方は大事ですね。

色々問題視されてる中

「アパホテル」なんかが最近ホテル業界で日本では強いけど

この社長はまさにリーマンショック直後に土地を買いあさった人で

成功していますが

あれは実はバリュー投資の不動産バージョンだ。

だからこれから既得権益が大きく崩れる中で実はチャンスも

生まれるはずだから、時代に悲観はしなくて良い、ですね。

時代に適合した人生戦略がある、と私は思うし

**あなたもそれで良い人生を構築しやすくなる、と思う。**

**それで投機、トレードにおいては 一時的にあがってきたところで**

**ライン節目でショートで利益計上できる**

**スキル、は保险的に大事になりますね。**

**では！**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【利下げで1グラム5500円（税込）に迫る金価格】

について考える！

[http://fxgod.net/pdf/gold\\_5500.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_5500.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆